

岐阜県歴史資料保存協会創立50周年記念シンポジウム 『歴史資料の保存と新たな地域文化の創造に向けて』が開催されました

11月16日（土）に岐阜県図書館で岐阜県歴史資料保存協会創立50周年を記念して、表題のシンポジウムが開催されました。以下はその様子です。

◆開会式

開会の挨拶をする高木敏彦会長



岐阜県総務部法務・情報公開課長橋本宏幸様の来賓挨拶

岐阜県議会議員副議長伊藤秀光様の来賓挨拶



市町村会員代表瑞穂市長森和之様の祝電を披露する司会の菱島一美副会長



来賓の皆様



開会式の様子



右から、県議会議員伊藤秀光様・県総務部法務・情報公開課長橋本宏幸様・県歴史資料館長植野晃様

◆シンポジウム

<市町村へのアンケート調査結果報告>

報告を行う川瀬健三理事長



<基調講演 1>

「歴史資料の保存と自治体」と題して講演される
元岐阜大学教授早川万年先生



<基調講演 2>

「歴史資料の保存・活用と地域博物館」と題して講演される川村学園女子大学教授堀部猛先生



<パネラー発表 1>

「岐阜県歴史資料館における資料の整理、活用の状況」について発表する岐阜県歴史資料館学芸員
入江康太氏



<パネラー発表 2>

「揖斐川町の文書管理の取り組み」について発表
する揖斐川町総務部財政課係長高橋康弘氏



<パネラー発表 3> 「

「展示に生かされる近現代行政文書—『石に刻む』展を例として—」について発表する
美濃加茂市民ミュージアム学芸員岩屋孝志氏



パネラーの皆様



シンポジウムの様子

